

平成24年度 佐久長聖中学校 学校関係者評価

評価 A：十分できている B：概ね十分できている C：普通である D：不十分なところがある E：ほとんどできていない

分野	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
学習指導	授業内容の充実	1 授業評価を適宜行い、その内容を検討して、生徒の学ぶ意欲を喚起する授業ができたか。	A	生徒の思考力を育む授業の充実を心がけ、ある程度達成できた。生徒とのコミュニケーションを重視した結果、信頼関係に基づいた授業が実践できた。 教師の自己満足に陥らない授業づくりをこれからも続けていかなければならない。基礎学力が不足している生徒に合った投げかけを行ない、レベルに合った達成感を味わえるように努めて欲しい。
	教科指導力の向上	2 研究授業や教員相互の授業参観を実施し、授業の質的向上に役立てたか。	A	毎月定例で開催している教科会や研究授業後の研究会で授業改善について考えることができた。研究授業、研究会に参加し、出された意見を自分の授業に照らし合わせ活用できた。さらに教科内、他教科間でも授業改善を活性化させ、資質の向上を目指して欲しい。教員相互の授業参観の時間確保にも努めて欲しい。
		3 模試・検定結果を教科内で分析し、生徒の学力に応じた授業を実施したか。	A	調査・模試の前後には教科会で目標や結果の分析をしているが、長期的に分析し学校としての特徴を洗い出し授業に応用できる点は対処して欲しい。 分析結果をいかに学力向上につなげられるか、普段の授業レベルをどこに合わせるのか、どうしていくことで全員に力をつけられるのかを丁寧に分析し実践に結びつけて欲しい。
	学習習慣の確立	4 学習状況・学習時間の定期的調査と面接指導で、適切なアドバイスができたか。	A	テスト後に個別に助言したり、見直しノートを提出させ、学習方法になどに関するアドバイスをしている。苦手意識を持つ生徒に対して効果的な助言ができるように工夫して欲しい。面接指導が特定の生徒にかたよってしまう点が課題なので、短時間でも全員に行うようにして欲しい。
		5 授業効率を上げるため、生徒の授業に臨む姿勢の育成・指導に努めたか。	A	授業中の指導、個別の面接を通して授業への姿勢の指導を適宜行い、生徒は前向きになってきた。空き時間に授業の様子を見て、改善点を全体や個々に示した。 意欲の低い生徒、集中力の持続しない生徒のやる気の喚起が課題である。
進路指導	希望進路の実現	6 6年間を見通した計画に基づいて指導が行われたか。各学年と係の連携が十分であったか。 (模試・補習・進路講話・大学研究会・勉強合宿等)	B	学年集会等において様々な資料を用いて意識付けを行うことができた。大学入試問題を研究し、関連の教材を生徒に示すなどした。補習、勉強合宿は成果が上がった。中高の教員が教科指導内容をはじめ情報交換する機会を増やし定期的に検討していくことが必要。 勉強合宿を高校への一歩と位置づけ実施することができた。
		7 進路指導に生かせるようなデータ整備・分析ができたか。	A	調査や模試結果の整備はできた。過去データの整理、結果の総合分析と生かし方は課題。
		8 勤労と職業観を育てるキャリア教育を実施したか。	A	一日社会体験などを活用したり、学年集会、HR等で折に触れ職業について意識させた。希望進路を定期的に調査することでさらに意識を高めて欲しい。
生活指導	自立的生活の確立	9 服装・挨拶等、生徒の自律的取り組みの支援ができたか。	B	声かけは常に行い、その場で適宜指導している。恥ずかしがっているのか他学年の先生に挨拶できない場合もあるようだが、粘り強く指導を継続して欲しい。
	生徒相談の充実	10 担任・学年・部活顧問・生徒指導係等が連携を取りながら適切に生徒相談に乗れたか。	A	関係する職員同士の情報交換をこまめに行い生徒を多面的にとらえるよう努めた。館生活における問題点を伝えても、その対処法や変化について情報交換できる機会をもてるよう工夫が必要。一人の生徒を全ての職員が見ていくという意識を一層高めていかなければならない。
	安心・安全な学習環境の確保	11 校内の清掃美化が進んだか。定期的な巡視・立門・交通安全指導ができたか。	A	巡視、立門指導、交通安全指導は計画に基づき実施できた。クラスや班によっては清掃が息抜きの時間になっている場面があり、自ら取り組もうという姿勢は足りない。無言清掃は徹底できておらず、教員の目の届かないところでの生徒のおしゃべりは制止できない。学習環境整備に向けての教室内の清掃美化はできた。
開かれた学校づくり	開かれた学校づくり	12 地域や保護者の意見・要望に対して迅速に対応できたか。	A	保護者面談を含めて、家庭連絡密に取り合っって情報の共有を図ることはできた。さらに教師から保護者への働きかけを多くして欲しい。館生の帰宅書や参観日、講演会等の時、アンケート、意見、要望に可能な限り迅速に対応した。
		13 ホームページや学年通信を通して、各種情報を生徒や保護者に提供できたか。	A	ホームページは充実している。学年通信は定期的に発行できた。学級通信は適宜出し保護者にクラスの様子を発信した。ホームページへの情報アップが遅れないようにする。あまり帰宅しない遠方の保護者への情報提供が遅れないようにしなければいけない。ホームページ更新の担当者が1名なので体制の見直しが必要。
		14 情報を積極的に発信し、地域との連携を深めたか。	B	委員会活動を通して地域との関わりは持てた。老人クラブの方々との交流を通して文化祭にも足を運んでいただいた。情報発信の量・質ともに向上させ地域と有機的に連携するようにして欲しい。